

事業所名	すみだ福祉保健センターみつばち園	支援プログラム	作成日	7年	2月	25日
法人(事業所)理念	<p>私たちは、利用者の人権を尊重し、利用者本位の福祉サービスを提供します。 (顧客指向を第一に、利用者一人ひとりの人格を尊重した、質の高いサービスを行います。) 私たちは、事業団の有する資源を効率的・効果的に活用し、福祉サービスの充実を図ります。 (経営資源「ヒト、モノ、カネ」を有効に活用します。とりわけ、対人サービスの要である多様なエキスパート人材を育成し、活用します。) 私たちは、地域福祉の向上に貢献します。 (地域社会での福祉を担う役割が高まる中で、これまでの実績を踏まえ、公共的立場から地域とともに活動し、地域社会の信頼を確保します。)</p>					
支援方針	<p>児童発達支援センターとして、心身に障害または発達の遅れやその心配のある児童とその保護者を対象に、専門的支援を行うとともに、地域における障害児支援の質の確保・向上を図ります。 各事業について、センターとしての専門機能を活かし、障害児及び家族への相談、障害児を預かる施設への援助・助言を行うことにより、区の中核的な療育支援施設として運営します。また、「にじの子」との事業間連携により効率的運営を行います。 1 支援対象となる就学前の乳幼児、理学療法を利用する小学3年生までの学齢児及びその保護者に、発達指導・日常生活指導等の療育を実施することにより、児童及び保護者が家庭や社会の中でいきいきと生活ができるよう支援します。 2 保護者に対し、必要な知識や育児方法の指導・援助を行うとともに、関係機関との連携を図り、障害のある子どもを取り巻く周囲の環境整備に努めます。</p>					
営業時間	9時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・来所時に心身状態の把握を行ない、衛生活動に誘導します。 ・安心して活動に励むよう室内の構造化をおこないます。 ・始まりと終わりを意識した活動を実施し、同様の流れや内容を繰り返すことを重視します。 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・身体をつかった遊びの機会を提供し、基本動作や粗大運動の獲得・機能向上を図ります。 ・教材の操作を通して手先を使う機会を取り入れ、生活動作の獲得・巧緻性の向上につなげます。 ・保有する機能・感覚に配慮した環境調整や補助具の使用、代替手段の活用を提案すると共に、受け入れられる感覚の幅を広げられるよう段階的に取り組みます。 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・形式的な理解の定着を図り、場面や状況に合わせた行動を選択できるよう支援します。 ・色や形の違いに気づく、見本や手本と見比べる、模倣・構成するといった活動を通して、学習の基盤を整えます。 ・ご本人に分かり易い手がかりを用いることで、他者からの働きかけを理解し、応じて行動する経験を重ねます。 				
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なものの名称や動作、気持ち、様子のことばについて知識を増やし、理解や表出の力につなげます。 ・言語に限らず発声・表情・動作等、ご本人に合った手段を活用した意思の伝達を促し、定着を図ります。 ・構音や吃音について評価を行ない、必要に応じて訓練を実施したり、言語環境を整えたりして改善を図ります。 				
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・ごっこ遊びや見立て遊びを通して、イメージを共有しながら物を操作したり他者とのやりとりを楽しむ機会を提供します。 ・遊びやゲーム活動を通して、相談する、役割を分担する、決まりを共有する等を行い、意欲的に参加ができるよう支援します。 ・安全で安心できる環境の中での挑戦を支え、ご本人の気持ちを受け止めながら、適切に感情を表現したり調整したりできるよう促します。 				
家族支援	発達状況や生活の様子を保護者と共有しながら、本人等の今後の支援について相談援助を行います。本人支援以外で保護者との面談を実施する場合があります。	移行支援	所属園等で充実した生活が送れるよう必要に応じ情報共有や支援内容等の連携を図ります。また、保護者の方のニーズに沿って、保育所等訪問支援員がお子さんの保育園・幼稚園等を訪問し、お子さんが集団の場で生活しやすくなるよう支援します。			
地域支援・地域連携	所属園や他事業所等においても充実した生活が送れるよう必要に応じて情報共有や支援内容等の連携を図ります。	職員の質の向上	職員が業務目標の立案・計画・実施・上司の面接等により、常に目標意識を高められるよう、効果的な育成・資質向上を図っています。また、計画的な外部研修(職層研修や専門的研修)への参加、他施設見学などを通して、支援技術の向上を図っています。			
主な行事等	すみだ福祉保健センターまつり、クリスマス会等各種季節に合わせた活動、保護者勉強会、保護者交流会、公開療育、事例検討会、避難訓練等					